授業科目	*ソーシャルワーク演習(梶原)								担当科目)
単位	1	履修	必修	開講	年次		1	開講明	寺期	後	 :期
担当教員	梶原	浩介									
授業概要	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、①ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、②ソーシャルワークの価値規範と倫理、③ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学びます。本演習では、福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえ、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行います。										
授業形態	演習			授業方 ロールプレイ、グループワー 法 ン						フ、プレゼン	ソテーショ
学生が達成すべき行動目標											
標準 レ 理 レ 想 バ ル 的 ル	2 3 4 5 6 7 1 2 3 4 5 6 年基	本本ーールレ己本本ーール的的シシーゼ覚的的シシーでコンコななヤャプコ面ルルダーにコ面ルルダ	接技術にで ワークの原 ワークの記 イナミクス	ーの異記な支集ーの異記なり、開録の術践シい開録の活に的ョて過に活いのに対して過に活ります。程つに	は、これでは、これでは、これでは、これで、これでは、これでは、これで、いいいででででいる。 ひい はい まい はい まい 野、 践、 践 習い 理、 践、 践 習い 理、 践、	て解実的実的得て解実的実大で践に践にで、し践に践にで、し践に践にで、して明明の理が実、的理的はるはそに解に解るは、	。理で理で。的の理し理でるでる 理術しそし	నె.	習得できる できる。 習得できる	5.	
	, ,			X1131-2-V		法・評価		IXIII C LI IV	1230		
	評価	方法		評価割合(数値)				備考			
試験											
小テスト											
レポート				30%							
発表(口頭、プレゼンテーション)				20%							
レポート外の提出物				EON							
その他 50% カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング											
DP1	0	DP2	0	DP3	0	DP4	0	DP5	0	ナンバリン グ	WE21226J
学習課題(予習・復習)									1回の学習目安 (時間)		
各回のふり返り、関連する内容の調べ学習									1		
第1回	オリニ	Lンテー:	ション								

	*ソーシャルワーク演習(梶原)
	本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に
	係る他の科目との関連性について解説する。
第2回	グループダイナミクスの活用
	グループワークの構成(グループリーダー・コリーダー・グループメンバー)、グループワークの
	展開過程(準備期・開始期・作業期・終結期)について、実践的に学ぶ。
第3回	ソーシャルワークの価値と視点
	ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。
第4回	自己覚知
	自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。
第5回	自己覚知
	自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。
第6回	基本的なコミュニケーション技術
	非言語的コミュニケーション(表情、態度、身振り、位置取り等)について、実践的に学ぶ。
第7回	基本的なコミュニケーション技術
	言語的コミュニケーション(質問、促し等)について、実践的に学ぶ。
	基本的な面接技術
第8回	面接の構造化、場の設定(面接室、生活場面、自宅等)、ツールの活用(電話、e-mail 等)につい
	て、実践的に学ぶ。
第9回	基本的な面接技術
毎 り凹	基本的な応答技法(言い換え、感情の反射等)について、実践的に学ぶ。
第 10 回	基本的な面接技術
유 IV 凹	基本的な応答技法(繰り返し、要約等)について、実践的に学ぶ。
第 11 回	ソーシャルワークの展開過程
N 11 L	ソーシャルワークの展開過程の全体像とワーカーの役割について、実践的に学ぶ。
第 12 回	ソーシャルワークの展開過程
N3 12 II	ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。
	ソーシャルワークの展開過程・ソーシャルワークの記録
第13回	アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツール
	を用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。
第 14 回	ソーシャルワークの展開過程・プレゼンテーション技術
	プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グ
	ループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。
第 15 回	ソーシャルワークの展開過程
	支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。
テキスト	担当教員がレジュメを配布し、参考図書等は適宜紹介します。
参考図	担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。
書・教材	
/データ	
ベース・	
雑誌等の	
紹介	

課題に対	フィードバックの方法の詳細は、各教員が授業内で提示します。
するフィ	
ードバツ	
クの方法	
	「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な
学生への	知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できる
メッセー	ようにしてください。
ジ・コメ	社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や
ント	「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシ
	ャルワーク実習」で活用できるようにしてください。